

2003 年度 委員会活動成果報告

(2004 年 3 月 12 日作成)

委員会名	コンクリート充填鋼管構造小委員会	主 査 名：崎野建治
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (鋼コンクリート合成構造運営委員会)	委員長名：西川孝夫 主 査 名：三谷 勲
設 置 期 間	2002 年 4 月 ~ 2006 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	<p>本小委員会は、最新の研究成果を踏まえ、コンクリート充填鋼管 (CFT) 構造の特性を活かした性能規定型設計法に対応する設計法を提案すると共に、CFT 構造の耐火、施工等についても最新の技術を整理し、これらの成果を基に、コンクリート充填鋼管構造設計指針の改定を行う。</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	<p>主査：崎野建治 (九州大学) 幹事：福元敏之 (鹿島建設) 委員：河野昭彦 (九州大学)・菅野良一 (新日本製鉄)・香田伸次 (清水建設)・小林秀雄 (日本設計)・津田恵吾 (北九州市立大学)・平出 亨 (竹中工務店)・藤本利昭 (安藤建設)・梅本宗宏 (戸田建設)・川口 淳 (三重大学)・陣内 浩 (大成建設)・平島岳夫 (千葉大学)</p>	
設置 WG (WG 名：目的)		
2003 年度予算	250,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	<p>第 1 回：2003 年 5 月 16 日・14 名 第 2 回： 10 月 31 日・10 名 第 3 回： 12 月 12 日・12 名 第 4 回：2004 年 3 月 11 日・12 名</p>
得られた成果	<p>(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無)</p> <p>「コンクリート充填鋼管構造設計施工指針」の構成 (以下に示す) と担当者を決め、各章の内容について審議を行い、指針本文を作成した。解説については次年度以降に順次審議予定である。</p> <p>指針の構成案 () 内は担当責任者 第 1 章 総則 (河野) 第 2 章 材料および材料強度 (菅野) 第 3 章 軸方向力を受ける部材 (津田) 第 4 章 軸方向力と曲げモーメントを受ける部材 (津田) 第 5 章 接合部 (福元) 第 6 章 付着設計 (崎野) 第 7 章 骨組の変形性能 (河野) 第 8 章 トラス (河野) 第 9 章 耐火設計 (平島) 第 10 章 充填コンクリートの調合と設計 (香田) 付録 1 鋼管の製法 (菅野) 付録 2 構造設計例 (小林) 付録 3 建設例 (香田)</p> <p>「コンクリート充填鋼管構造設計施工指針」の初版が発刊されたのは 1997 年であり、今日におけるコンクリート充填鋼管構造の普及を考えると今回の指針改定の価値は高い。ホームページ等での公開は現在の所無し。</p> <p>委員会 HP アドレス： http://www.kobe-u.ac.jp/scs/AIJ-SCCS/index.html</p>
目標の達成度	<p>(当初の活動計画と得られた成果との関係)</p> <p>当初の計画はほぼ達成されている。 残り 2 年で作業は終了するものと思われる。</p>
その他評価すべき事項	